

光風会展で7年連続入選

志野焼きの
オブジェで 館山の笹子さん

全国から絵画や工芸作
品を集める公募展「第1
00回記念光風会展」で、
館山市上真倉の笹子三喜
男さん(55)の志野焼き
のオブジェ「心包む」(高
さ45センチ)が入選した。昨
年の奨励賞を含み、7年
連続の入選となった。
オブジェの副題は「従
軍慰安婦に捧ぐ」。制作
村の創設者・深津文雄牧
師は、自らを「底点の人



笹子さんが制作した「心包む」

と呼び、悲惨な女性の人
生を真っ向から受け止め
館山にすごい男がいたこ

とを覚えておきたい。そ
う思うひとりとして、こ
の作品を館山から発信し
た」と笹子さん。

多摩美術大学多摩芸術
学園で陶芸を学び、家業
の木工所を継ぎながら自
宅に「海山坊窯」をかま
え作陶に励み、陶歴は35
年。笹子さんは「たくさ
んつくるより、これはと
いえるものを仕事の合間
につくっている。今後も
メッセージのある作品を
つくっていききたい」と話
していた。

光風会公募展は、今月
29日(22日は休館)まで東
京・六本木にある国立新
美術館で開かれている。

原日 2014.4.17